



2008年度 市民講演会

21世紀の環境・医療・食糧問題の解決のために — “極低温”と“寒冷”からのアプローチ —

主催:(社)低温工学協会 東北・北海道支部

日時:平成20年11月8日(土)14時から16時

場所:岩手大学図書館2F(多目的学習室)

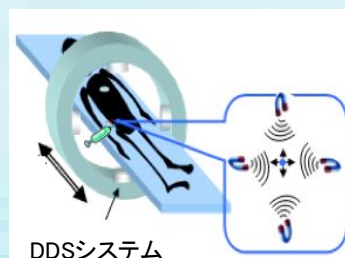
盛岡市上田3丁目18-8

参加費:無料 (お気軽にお越し下さい)

講演1

「超伝導を用いた環境浄化とドラッグデリバリーシステムへの応用」

講師:大阪大学工学研究科環境エネルギー工学
専攻教授 西嶋 茂宏氏



超伝導体が発生する強い磁場を用いて、様々な応用が考えられている。その中で水質の浄化などの環境浄化分野や、薬を必要な場所(患部)に必要な量だけ搬送するドラッグデリバリーシステム(DDS)などの医療分野への超伝導の利用の試みと、将来の超伝導応用の展望についてお話していただく。

講演2

「寒冷環境におけるザゼンソウの発熱現象とその応用」

講師:岩手大学農学部附属寒冷バイオシステム
研究センター教授 伊藤 菊一氏



仏像の光背に似た形の仏炎苞の重なりが、僧侶が座禅を組む姿に見えることが名前の由来とされるザゼンソウ。岩手を含む我が国の寒冷地に自生するザゼンソウは肉穂花序と呼ばれる花の密集した器官が開花時に積極的に発熱し、その体温を20℃内外に維持する能力を持つ。岩手大学では、ザゼンソウの発熱システムの解明と、その応用に向けた研究が行われている。最近のザゼンソウ研究の進展と、将来の食糧問題の解決等への可能性についてお話していただく。

問い合わせ先:岩手大学工学部材料物性工学科 藤代博之
TEL:019-621-6363, e-mail: fujishiro@iwate-u.ac.jp